



# 山口大学 (山口県)

歴史のある美しい街、山口へ留学してみませんか

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

#### 1) 特色と歴史

山口大学は1815年、長州藩士・上田鳳陽によって創設された私塾・山口講堂を前身とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された。

メイン・キャンパスは山口市（人口は192,198人（2022年10月1日現在））に位置している。山口市は自然環境に恵まれた落ちついた都市で、多くの歴史的名勝・文化的景観が残されている。

#### 2) 教員・学生数等

- ・教員数：1,073名（2022年5月現在）
- ・学生数：学部生 8,546名  
大学院生 1,473名  
（2022年5月現在）

### ② 国際交流の実績

- ・大学間交流協定校数：107校
- ・学部間交流協定校数：3校  
復旦大学  
淡江大学  
イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学

（2022年5月現在）

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数367人、日研生1人  
2021年：留学生数359人、日研生0人  
2020年：留学生数388人、日研生2人

（2022年5月現在）

### ④ 地域の特徴

山口県は、本州の西の端にあり、山口大学吉田キャンパスのある山口市は「西の京」とも呼ばれ、歴史と文化の薫り漂う県庁所在地です。吉田キャンパス近くにある「湯田温泉」は、約800年の歴史と山陽路随一の規模を持つ温泉街で、一日2000tという豊かな湧出量を誇り、地元客や観光客に人気です。このほか、県内には優れた温泉地がたくさんあります。

また、広島県、福岡県の間に位置し、どちらの都市にも新幹線で約40分で行くことができます。

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

- (b) 主に日本語能力の向上のための研修

### ② 研修・コースの特色

・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。

・スピーキング、リーディング、ライティング能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶ。

### ③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、日本国以外の大学学部（来日時点で主として第2学年次以上）に在籍する学生で、日本語・日本文化研修生として、以下の要件を満たす者とする。

##### (1) 日本語能力

日本語能力試験のN2ないしそれ以上の級に合格している者、または同等の日本語能力を有する者。一般的な事柄について会話ができ、基本的な文章を読み書きできること。

##### (2) 日本研究学習歴、専攻

- ・日本語・日本文化に関する分野を専攻する者

#### ⑤ 達成目標

- ・日常的に使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- ・日本社会、日本文化に関する研究に活用できる知識を身につける。

#### ⑥ 研修期間（在籍期間）

2023年10月1日 ～ 2024年9月30日

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ～ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日  
オリエンテーション

11月：留学生交流会

9月下旬：帰国

#### ⑨ コースの修了要件

本コースの必修科目（前期7科目、後期7科目）を全て履修し、各自の課題研究をまとめた論文を提出した者には、成績証明書を発行する。

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

##### 1) 研修・コース科目の特徴

・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。

・スピーキング、リーディング、ライティング能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶ。

##### 2) 研修・コース開設科目

###### I) 必須科目

###### 【日本語演習A】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

単語や文法の知識を基に、特に「聞く」「話す」能力を育成し、日常生活におけるより一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。また、学習内容のトピックに関連した簡単な新聞記事も読めるようにする。

###### 【日本語演習B】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

表現文型・文法を学び、日本語の運用能力を高める。特に助詞が正しく使えるようになることを目指す。また、その日のテーマに関連したディスカッションから書く練習へと発展させ、文章作成能力のレベルアップを図る。

###### 【日本語演習C】（前期60時間／後期60時間）

演習形式、使用言語：日本語

いろいろなジャンルの新聞記事、エッセイ、小説などを読み、日本語の様々な文体に慣れる。楽しく読むことができ、かつ読めたという体験を持たせ、長文の速読速解能力の向上を目指す。

###### 【日本事情】（前期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本の文化、習慣、教育、政治、経済など日本についての基本的な事項を各種のメディア（新聞、雑誌、テレビ、インターネット等）から取り上げ、講義し、その日のテーマについてディスカッションを行う。

###### 【異文化を学ぶ】（後期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本文化に関する様々なテーマについて学習する（例：日本の漫画、アニメ、音楽、遊び、芸術、社会）。フィールドワーク作業、ビデオ教材等を含めることで、言葉では説明しにくいものを感覚的に理解出来るように配慮する。

###### II) 選択科目

さらなる勉学・研究のために、日本語の仕組み、日英語の違い、日本の音楽、日本の歴史、日本の工芸等の教育学部開講の授業に参加することができる。

留学生の日本語能力の向上の程度を勘案して、日本語のドリル及び日本文化に関する補講を行うことがある。

教育学部が開設する授業に加え、本学には共通教育科目として、すべての学部 に在籍する留学生を対象にした日本語・日本事情関係の授業が開講されている。日本語能力テストの結果に応じてこれらの授業を履修することも可能である。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

特筆すべきものはなし

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

特筆すべきものはなし

## ⑪ 指導体制

- ・責任教員 猫田 和明  
(学生国際交流ワーキング座長)
- ・学生の所属：教育学部
- ・指導教員：希望に合わせて専門分野の教員又は、国際交流に関わる教員が指導を担当する。

## ■ 宿 舎

原則として、山口大学の敷地内にある留学生用宿舎「国際交流会館」へ入居可能である。

※過去3年間の入居実績： 1名 (2022年)  
0名 (2021年)  
2名 (2020年)

※留学生用宿舎の詳細については以下のURLを参照

(<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/01is/05dormitories.html>)

## ■ 修了生へのフォローアップ

修了生へのフォローアップについては、研修期間の指導状況に合わせ、指導教員が行う。

## ■ 問合せ先

<担当部署>

- ・山口大学教育学部学務係  
住所：〒753-8513  
山口県山口市吉田1677-1  
TEL：083-933-5307  
FAX：083-933-5468  
E-mail：info-g@yamaguchi-u.ac.jp

担当教員：猫田 和明  
(教授・学生国際交流ワーキング座長)  
E-mail：nekoda@yamaguchi-u.ac.jp

<ウェブサイト>

山口大学ホームページ：

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学留学生センターホームページ：

<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/>